

# 新風

千葉県の医療情報

BREATHE NEW LIFE

## 麻しん・風しんワクチン接種が大人にも必要な理由

大人たちの間でたびたび流行しては社会問題となっている麻しんと風しん。「現代の日本で、子どもたちではなく、なぜ大人たちが？」と思われた方は少なくないでしょう。今回は、千葉県医師会原木真名医師に、大人にも必要な予防接種について伺いました。

### ▼今も国外から持ち込まれる麻しんウイルス

麻しん（はしか）は、命も脅かすとても怖い病気です。今でも特効薬はなく、肺炎や脳炎などの合併症を引き起こすこともあり、1000人に1人は亡くなっています。

感染力はインフルエンザの10倍とされ、空気感染で急速に広がります。免疫を持たない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

発症すると、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状の他、口の中や体に発疹が現れます。加えて、非常に怖いのは、発症後の免疫力が著しく低下してしまう点です。

麻しんは子どもの病気のように思われがちですが、今の患者の多くは大人たちです。

今年の春にも、台湾人旅行者が感染源となつて沖縄県内で麻しんが広がり、県外まで飛び火して100人以上の患者が出ました。

東南アジアでは今も麻しんが流行しているため、現在の日本で流行する麻しん



千葉県医師会  
原木真名 医師

### ▼ワクチン接種が不十分な世代の大人たちが危険

なぜ、大人たちの間で麻しんが流行するかというと、予防接種制度が改変されてきた中で、十分にワクチンを接種されなかった世代の大人が多くいるからです。

現在50歳以上の人たちの大半は、子どもの頃に麻しんにかかり、自然と免疫ができていた世代です。また、2回の予防接種が義務化されている現代の子どもたちは、1歳前の乳児を除き、比較的安全と言えます。

ところが、1990年4月1日以前に生まれた人たちは、麻しんの予防接種が1回きりだった時代に育つたため、免疫が低く感染しやすいというのが大きな理由です。

同じように風しんも、予防接種が不十分な時代に育つた年代の間でたびたび流行している感染症です。

風しんの予防接種は女性だけに実施されていた時代もあるため、特に1979年4月1日以前に生まれた男性は1回も風しんワクチン接種の機会がなく、十分な免疫をもっていない人が多くいます。

症状としては、発熱、発疹、リンパ節の腫れ等があり、麻しんに比べれば軽症のため「三日ばしか」とも呼ばれています。

風しんが怖いのは、妊婦が感染すると、おなかの中の赤ちゃんが高確率で「先天性風しん症候群」という障害を発症する点です。

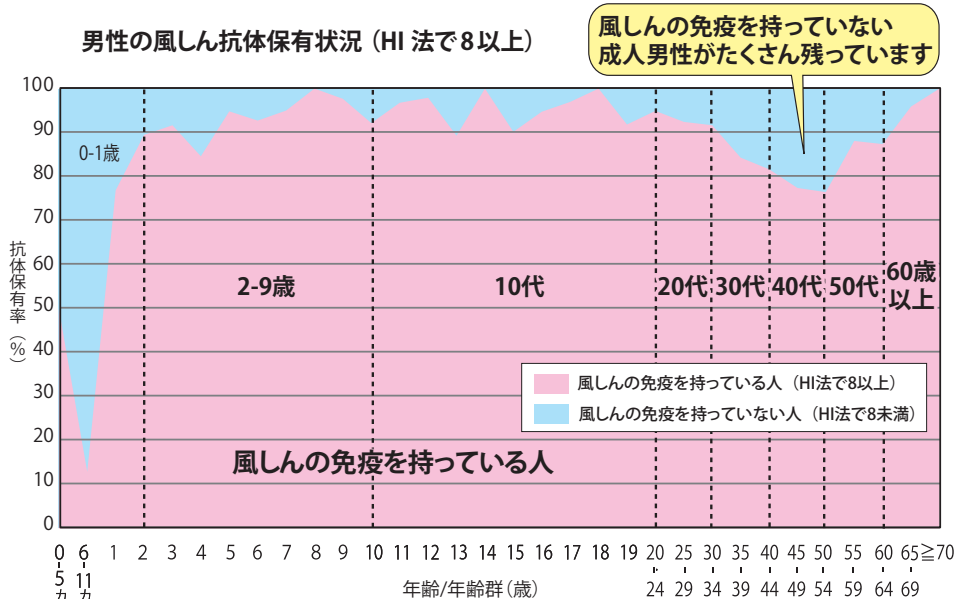
ウイルスは、海外から持ち込まれているのです。

### 麻しんの予防接種制度の変遷

1978年	定期接種（1回）開始・生後12か月～72か月対象
2006年度	定期接種（2回）開始・1歳、就学前1年間の幼児対象
2007年、2008年	10～20代の若者を中心に大流行
2008～2012年度	2008年度から5年間の時限措置として、中学1年生、高校3年生相当年齢の者に補足的接種を実施

先天性風しん症候群の主な症状は、先天性心疾患、難聴、白内障ですが、他にも、網膜症、発育発達遅滞など多岐にわたります。

男性の風しん抗体保有状況（HI法で8以上）



風しんの免疫を持っていない成人男性がたくさん残っています

【抗体価測定：赤血球凝集抑制法/n=2,886】(HI法)  
 【2017年度風しん感受性調査実施都道府県】北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、長野県、愛知県、三重県、山口県、高知県、福岡県、沖縄県  
 出典：国立感染症研究所 感染症疫学センター

**\* 女性の場合：女性は、ほぼ全年齢で90%以上の人が抗体を持っています。**

高い保有率ではありますが、抗体があっても先天性風しん症候群のお子さんが生まれてしまうことがあります。MR ワクチンは2回接種していることが望ましいです。

風しんが大流行した2012年には、40人以上のお子さんが先天性風しん症候群をもって産まれました。麻しんと同様に、風しんも効果的な治療法はないため、ワクチン接種が重要です。

**▼自分と社会を守る自覚と責任をもって、大人もぜひ、予防接種を！**

麻しんも風しんも、自分がかかったことがあるのかどうか、子どもの頃にワクチン接種をしたのかどうか、よくわからないという人も少なくないでしょう。疑わしい場合は、とにかく「麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)※」を2回受けることをお勧めします。他に、水疱瘡やおたふくかぜもよく流行するため、大人もワクチン接種を受けて欲しい病気です。予防接種がある病気というのは、命の危険があったり、重篤な後遺症が残ったりする怖い病気です。だからこそワクチンがつけられたわけですね。副反応を気にされる方もいますが、接種後数日で消える軽微なものがほとんどで、重度の副反応は極めてまれです。何より、予防接種には病気から本人を守るという大きなメリットがあるので、社会を守るという大変重要な意味があります。今の時代、麻しんや風しんを持ち込み、流行させているのは大人たちです。ワクチンを打てない1歳未満の赤ちゃんや妊婦さんにうつさない、流行させない、そして麻しん・風しんを根絶するために、大人の方もぜひ積極的に予防接種を受けてください。

※大人のMRワクチンは任意接種(自費)のため、8千円～1万円程度の費用がかかります。(医療機関によって異なる。内科等で接種できますが、予め電話等で問い合わせるからの受診をお勧めします。)